

地域公共交通計画の進捗についてのまとめ

地域公共交通計画の進捗についてのまとめ

目標	各取組のまとめ（特筆すべきものを抜粋）	関連するモニタリング項目
<p>目標1 公共交通ネットワークの確保</p>	<p>【拠点間ネットワークの機能強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○SMI美原ラインの実証運行（最長の91日間） ○（泉ヶ丘駅前～）近大病院～金剛駅前の路線新設 ●SMI美原ラインの本格運行 <p>【バス・軌道路線等の維持・確保】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○堺市乗合タクシーの停留所を追加 ●予約システムの導入・インターネットによる予約受付開始 <p>【担い手不足等への対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各事業者と連携したハローワークでの職業説明会 & 座談会 ●バス事業者の従業員に対する住宅費支援の一部を補助、バス運転士の住まいとして市営・府営住宅の空室を活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通に係る歳出（R6:766百万円） ・公共交通の利用頻度（R7:45.2%（週1日以上利用））
<p>目標2 利用しやすい運送サービスの提供</p>	<p>【運賃施策の検討・実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○泉北高速鉄道（株）と南海電鉄（株）との経営統合による運賃値下げ ○大阪・関西万博の開催に合わせた事業者横断の企画乗車券の発行 <p>【利用環境の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○阪堺線やSMI都心ラインにおける待合環境の充実・整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通の利用頻度（R7:45.2%（週1日以上利用）） ・移動の快適性・安全性満足度（R7:46.4%） ・多言語化率（R6:停留所39.5% 車内71.9%）
<p>目標3 外出機会の創出</p>	<p>【他分野との施策連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○大阪・関西万博や大阪ディステーションキャンペーン等の実施による市外からの誘客 ●「おでかけ応援制度」の期間限定の無償化 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通に係る歳出（R6:766百万円） ・公共交通の利用頻度（R7:45.2%（週1日以上利用）） ・多言語化率（R6:停留所39.5% 車内71.9%）

○：R7年度実施
●：R8年度実施予定

地域公共交通計画の進捗についてのまとめ

目標	各取組のまとめ（特筆すべきものを抜粋）	関連するモニタリング項目
目標4 安全性の向上	【駅舎のバリアフリー化】 ○御堂筋線なかもず駅での駅エレベーターの設置 【安全対策の実施】 ○ノンステップバスの導入拡大 ●南海高野線中百舌鳥駅の1番線可動式ホーム柵の整備 ●南海泉北線各駅の可動式ホーム柵整備に向け工事着手	・移動の快適性・安全性満足度 （R7:46.4%） ・ノンストップ車両導入率 （R6:73.1%） ・低床式車両導入率 （R6:11.4%）
目標5 環境負荷の低減	【自動車利用からの転換】 ○臨海部への従業員バス輸送の機能強化のため石津新バスターミナルを開設 【多様なモビリティとの連携】 ○シェアサイクルポートの拡充	・公共交通の利用頻度 （R7:45.2%（週1日以上利用）） ・温室効果ガス実排出量 （R4:1,002千t-CO ₂ ）
目標6 新たな技術やサービスの活用による利便性の向上	【新たな技術を活用した利便性・快適性の向上】 ○SMI都心ライン導入計画の策定（R7.5） ○SMI都心ラインの実証実験（信号協調・路車協調システム、正着制御等）	・多言語化率 （R6:停留所39.5% 車内71.9%）
目標7 多様な関係者の連携・協働	○行政や事業者によるバス乗車体験や講座、市職員向け利用啓発を実施	・多様な関係者が参画する会議回数 （R6：6回/年）

○：R7年度実施
●：R8年度実施予定